

資料Ⅱ-2

平成29年度医療事故調査制度研修会アンケート

[空白ページ]

資料Ⅱ-2

1

平成29年度

医療事故調査制度「支援団体統括者セミナー」 アンケート

平成30年1月13日・14日（東京）

平成30年1月27日・28日（広島）

データ提供： 一般社団法人 日本医療安全調査機構（医療事故調査・支援センター）

東日本・西日本 共通プログラム

<開催日> 平成30年1月13日・14日(東京)

平成30年1月27日・28日(広島)

<受講者> 東京: 都道府県医師会担当役員(医師)20名、機関病院等代表者(医師)20名、
地域看護職代表者(看護師)19名 計59名

広島: 都道府県医師会担当役員(医師)18名、機関病院等代表者(医師)18名、
地域看護職代表者(看護師)18名 計54名

【1日目】(土曜日)10:30~17:30

時間	内容	
10:30~10:40	開講挨拶 日本医師会	
10:40~11:00	「医療事故調査制度の概要」 名越 究(厚生労働省医政局総務課医療安全推進室長)	〔講義〕
11:00~12:00	「医療事故報告における判断」 【東京】南須原 康行(北海道大学病院医療安全管理部 教授) 【広島】山口 徹(日本医療安全調査機構 顧問兼医療事故調査・支援事業部部長)	〔演習〕
平成29年度	「医療事故報告における判断」 木村 壯介(日本医療安全調査機構常務理事)	〔講義〕
12:20~13:20	昼食休憩	
13:20~13:50	「初期対応、情報収集・整理」 南須原 康行(北海道大学病院医療安全管理部 教授)	〔講義〕
13:50~14:20	「死因の検証・分析」 上野道雄(福岡県医師会 副会長)	〔講義〕
14:20~14:50	「調査分析」 長尾 能雅(名古屋大学医学部附属病院 副院長)	〔講義〕
14:50~15:20	「報告書の書き方」 宮田 哲郎(山王メディカルセンター 血管病センター長)	〔講義〕
15:20~15:35	休憩	
15:35~15:45	【グループワークの説明】 南須原 康行(北海道大学病院医療安全管理部 教授)	
15:45~17:15	「①情報の収集・整理、発表・討議」 南須原 康行(北海道大学病院医療安全管理部 教授)	〔グループワーク〕
17:15~17:30	1日目の質疑応答 今村 定臣(日本医師会 常任理事)	

【2日目】(日曜日)9:50～16:00

時間	内容	
9:50～10:00	今日の講義・演習の進行について説明	
10:00～11:20	「②死因の検証・分析、発表・討議」 上野道雄（福岡県医師会 副会長）	[グループワーク]
11:20～12:00	「③死因の検証・分析、発表・討議」 長尾 能雅（名古屋大学医学部附属病院 副院長）	[グループワーク]
12:00～13:00	昼食休憩	
13:00～14:40	「④報告書のまとめ方」 宮田 哲郎（山王メディカルセンター 血管病センター長）	[グループワーク]
14:40～15:20	「調査報告書についての解説」 長尾 能雅（名古屋大学医学部附属病院 副院長）	
15:20～15:50	研修全体の質疑応答 山口徹（日本医療安全調査機構 顧問兼医療事故調査・支援事業部部長）	
15:50～16:00	閉講挨拶 日本医師会	

* この研修は、一般社団法人日本医療安全調査機構の委託を受けて実施するものです。

* 講演タイトル・講師等は当日までに変更となる場合がございます。ご了承ください。

支援団体統括者セミナー アンケート（1日目）

本日は、セミナーにご参加いただきましてありがとうございます。事務局では、今後の「セミナー」を充実させるために、参加者の皆様のご意見を参考にさせていただきたいと思っております。以下のアンケートへご回答の上、お帰りの際に受付の回収箱に投入して下さい。

★必ずご記入ください

都道府県名	（	都・道・府・県	）
職種：	<input type="checkbox"/> 医師	<input type="checkbox"/> 看護師	<input type="checkbox"/> その他（
			）

（Q1）本セミナー（1日目）のそれぞれの講義・演習の理解度についておたずねします。下記の番号の中からあてはまる番号に○をつけて下さい。

講 義 名	理解	あまり理解	まあまあ	理解
	できなかった	できなかった	理解できた	できた
【講義】医療事故調査制度の概要	1	2	3	4
【演習】医療事故報告における判断	1	2	3	4
【講義】医療事故報告における判断	1	2	3	4
【講義】初期対応、情報の収集・整理	1	2	3	4
【講義】死因の検証・分析～再発防止の立案	1	2	3	4
【講義】調査分析	1	2	3	4
【講義】報告書の書き方	1	2	3	4
①情報の収集・整理【GW】	1	2	3	4
①情報の収集・整理【発表・討議】	1	2	3	4
1日目質疑応答	1	2	3	4

（裏面に続きます）

(Q2) 本セミナー(1日目)のそれぞれの講義・演習の有用度についておたずねします。今後の支援団体の活動にどの程度役立つと思われるか。下記の番号であてはまるものに○をつけて下さい。

講義名	役立たない	あまり役立たない	まあまあ役立つ	役立つ
【講義】医療事故調査制度の概要	1	2	3	4
【演習】医療事故報告における判断	1	2	3	4
【講義】医療事故報告における判断	1	2	3	4
【講義】初期対応、情報の収集・整理	1	2	3	4
【講義】死因の検証・分析～再発防止の立案	1	2	3	4
【講義】調査分析	1	2	3	4
【講義】報告書の書き方	1	2	3	4
①情報の収集・整理【GW】	1	2	3	4
①情報の収集・整理【発表・討議】	1	2	3	4
1日目質疑応答	1	2	3	4

(Q3) 本セミナー(1日目)を受けて、医療安全の推進のために、具体的に実践できそうなことはなんですか。

(Q4) 報告すべき事例について、判断に迷ったご経験がありますか。
迷った経験 ⇒ ある ・ ない ➡ (Q6)へ



あるにを付けた方：本日のセミナーの受講で解決できましたか。

- ⇒ 参考にならなかった
- あまり参考にならなかった
- まあまあ参考になった
- 参考になった

⇒ 具体的にどのような点で判断に迷ったか、以下にご記載ください：

(Q5)へ

- ➡ (Q5) ご自身の地域における支援団体の活動について、該当する項目について
をつけて、具体的な活動等がありましたらご記載ください。
活動がみられない ・ 十分な活動がある ・ わからない

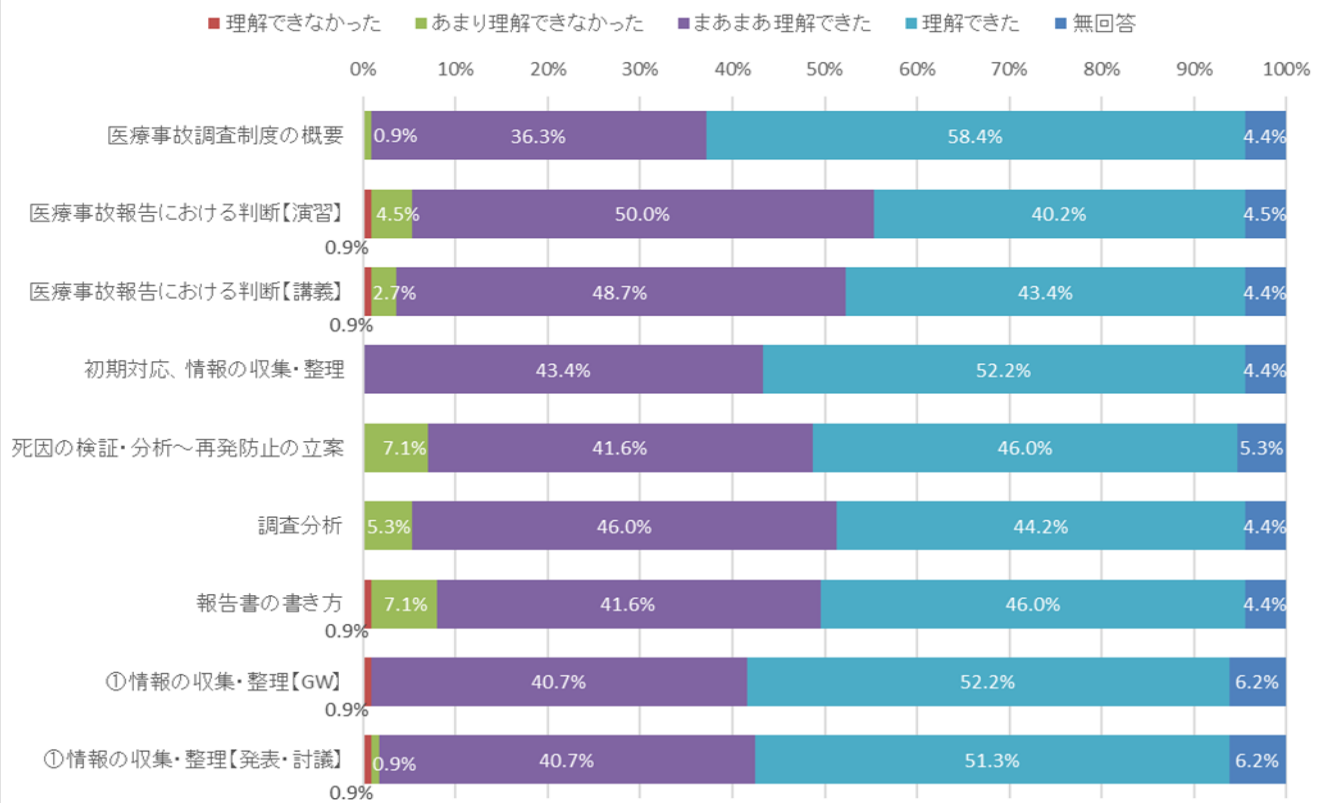
活動など：

- (Q6) 本セミナー（1日目）の内容・進行・運営等について、ご意見・ご質問がありましたら、お聞かせください。

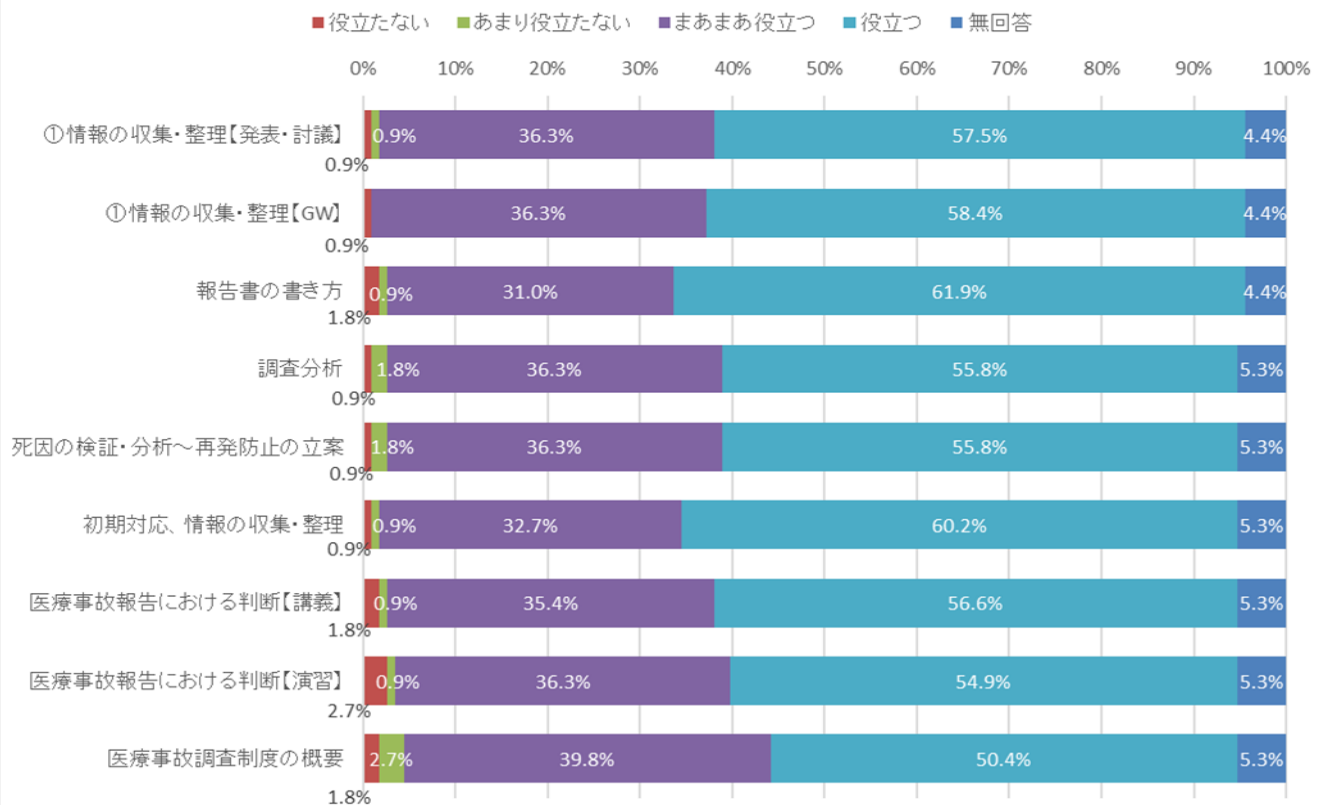
- (Q7) 医療事故調査制度に関して、日頃お悩みの点がありましたら、お聞かせください。

*本アンケートにご記入いただいた内容は、匿名性に留意したうえで、よりよいセミナーを実施するために、平成29年度地域医療基礎開発推進事業「医療事故調査制度の実施状況に関する研究」等の資料として活用させていただく場合があります。皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

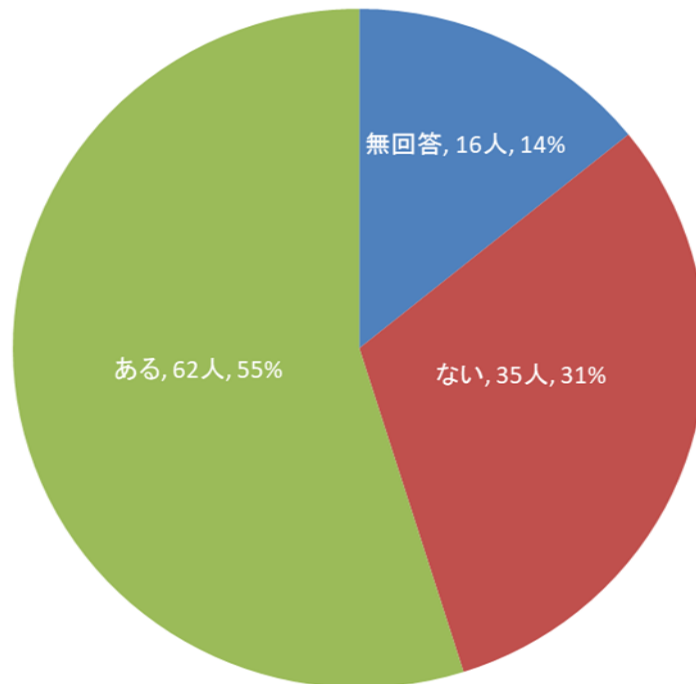
Q1理解度 1日目（全会場 N = 113）



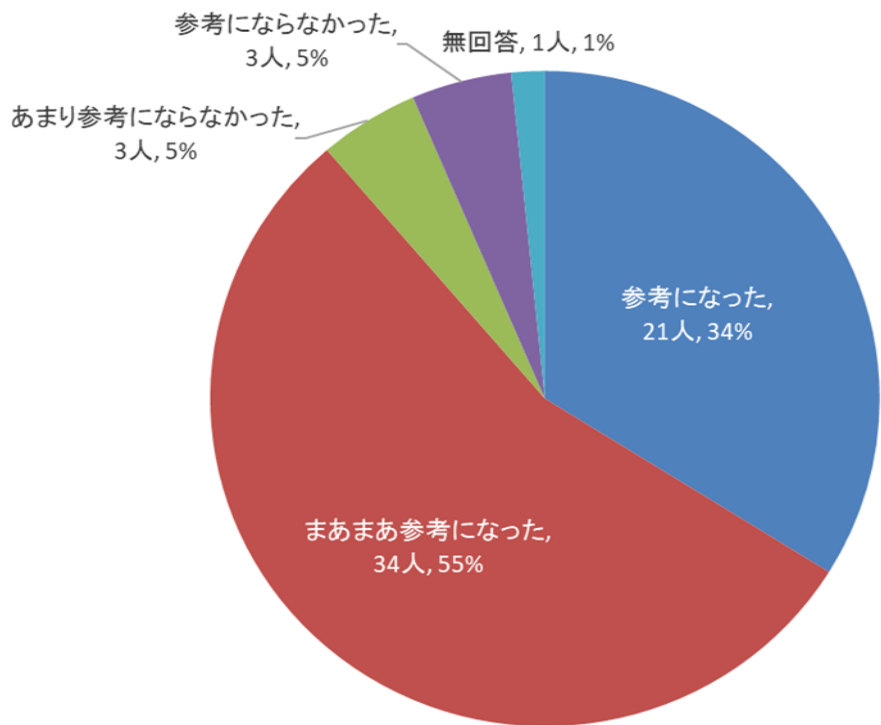
Q2有用度 1日目（全会場 N = 113）



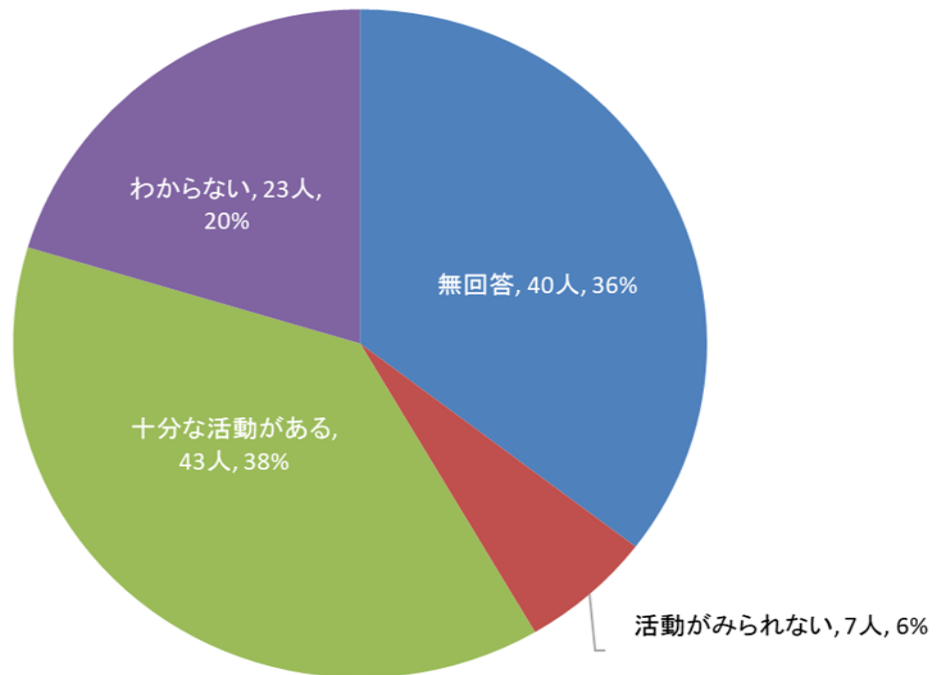
Q 4 迷った経験(全会場 N=113)



Q4 「迷った経験がある」うち、本セミナーで解決できたか
(全会場 N=62)



Q 5 自身の地域の支援団体の活動について
(全会場 N=113)



支援団体統括者セミナー アンケート（2日目）

本日は、セミナーにご参加いただきましてありがとうございます。事務局では、今後の「セミナー」を充実させるために、参加者の皆様のご意見を参考にさせていただきたいと思っております。以下のアンケートへご回答の上、お帰りの際に受付の回収箱に投入して

★必ずご記入ください

都道府県名	（ 都・道・府・県）
職種：	<input type="checkbox"/> 医師 <input type="checkbox"/> 看護師 <input type="checkbox"/> その他（ ）

（Q1）本セミナー（2日目）のそれぞれの講義・演習の理解度についておたずねします。下記の番号の中からあてはまる番号に○をつけて下さい。

講義名	理解	あまり理解	まあまあ	理解
	できなかった	できなかった	理解できた	できた
②死因の検証【GW】	1	2	3	4
②死因の検証【発表・討議】	1	2	3	4
③検証・分析【GW】【発表・討議】	1	2	3	4
④報告書のまとめ方【GW】	1	2	3	4
④報告書のまとめ方【発表・討議】	1	2	3	4
調査報告書についての解説	1	2	3	4
研修全体の質疑応答	1	2	3	4

（Q2）本セミナー（2日目）のそれぞれの講義・演習の有用度についておたずねします。今後の支援団体の活動にどの程度役立つと思われるか。下記の番号であてはまるものに○をつけて下さい。

講義名	役立つ	あまり	まあまあ	役立つ
	役立たない	役立たない	役立つ	役立つ
②死因の検証【GW】	1	2	3	4
②死因の検証【発表・討議】	1	2	3	4
③検証・分析【GW】【発表・討議】	1	2	3	4
④報告書のまとめ方【GW】	1	2	3	4
④報告書のまとめ方【発表・討議】	1	2	3	4
調査報告書についての解説	1	2	3	4
研修全体の質疑応答	1	2	3	4

（裏面に続きます）

(Q3) 本セミナー(2日目)を受けて、医療安全の推進のために明日から、具体的に実践できそうなことはありますか。

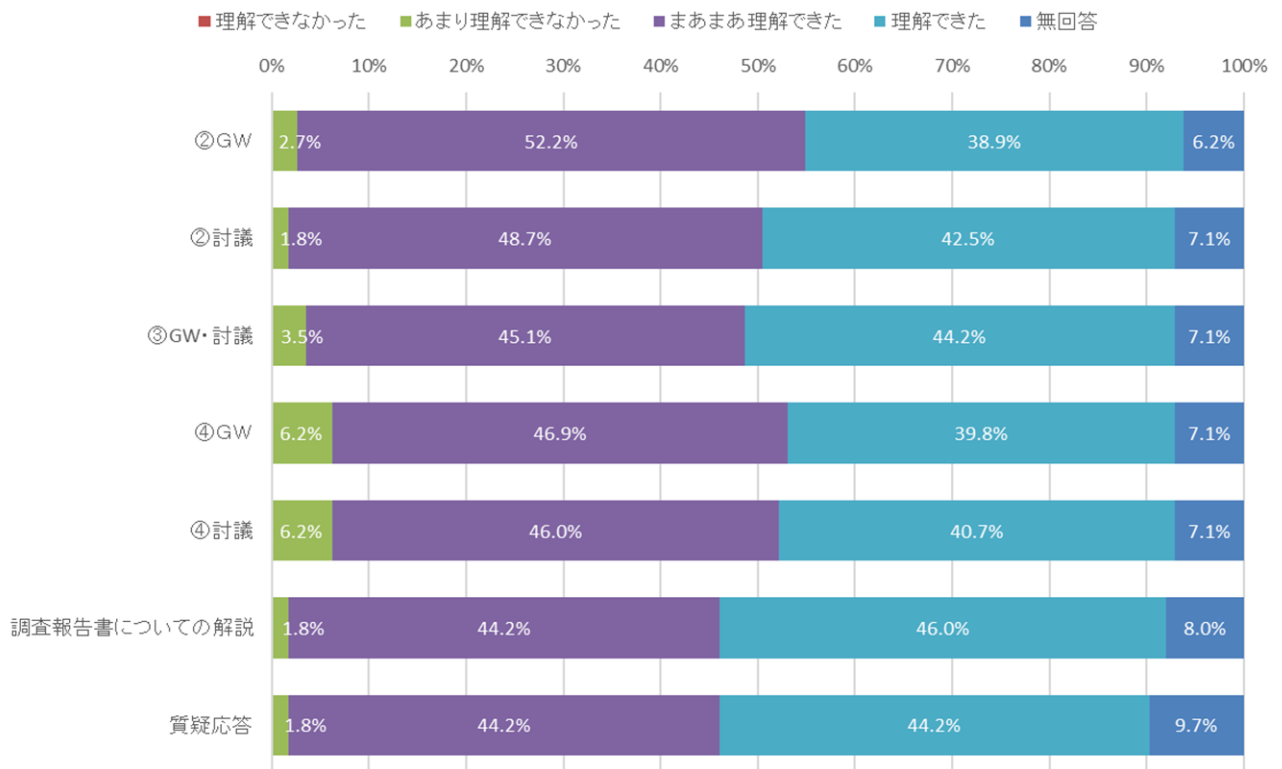
(Q4) 本セミナー(2日目)の進行・運営について、ご意見がありましたら、お聞かせください。

(Q5) ワークブックの内容や今後の取り扱いについて、ご意見がありましたら、お聞かせください。

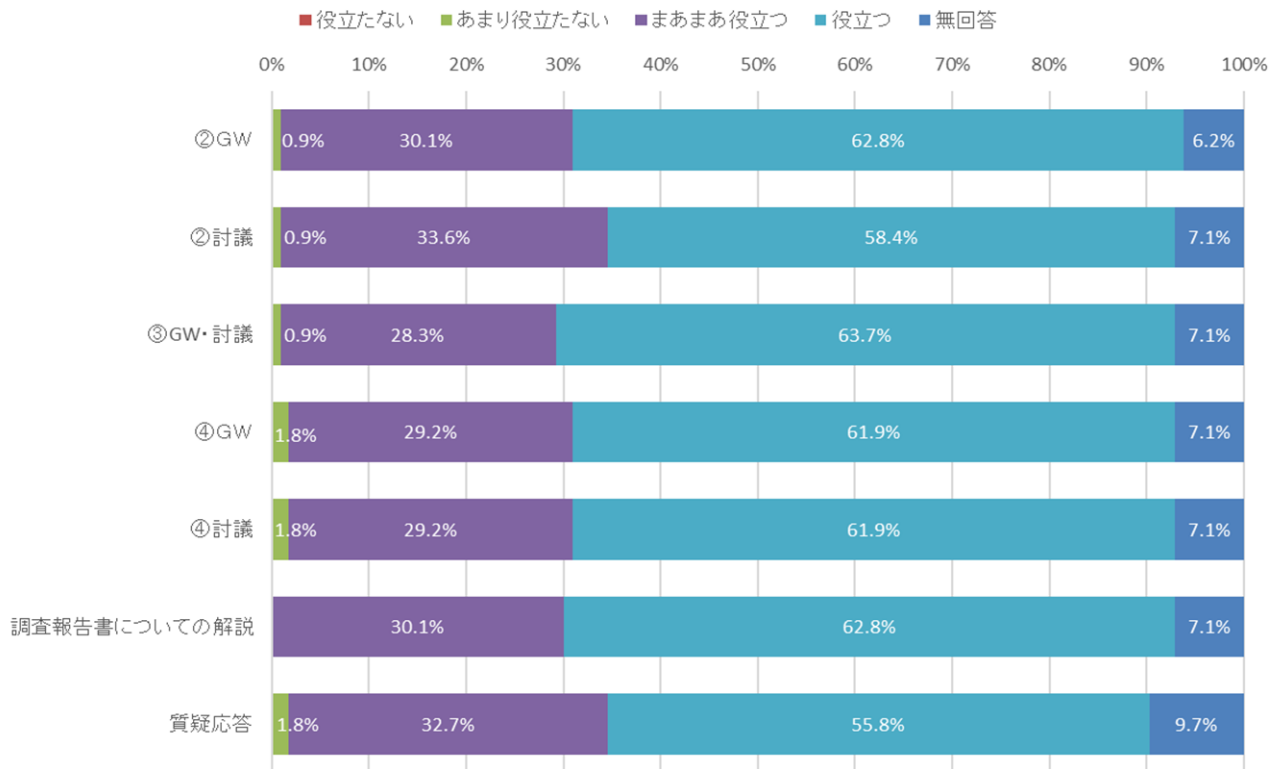
(Q6) 今後の研修に取り入れてほしいことがありましたら、お聞かせください。

*本アンケートにご記入いただいた内容は、匿名性に留意したうえで、よりよいセミナーを実施するために、平成29年度地域医療基礎開発推進事業「医療事故調査制度の実施状況に関する研究」等の資料として活用させていただく場合があります。皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

Q1 理解度 2日目 (全会場 N = 113)



Q2 有用度 2日目 (全会場 N = 113)



資料Ⅱ-2

2

平成29年度

医療事故調査制度に関する「管理者・実務者セミナー」アンケート

平成29年10月02日（月）	東京
平成29年10月18日（水）	青森
平成29年11月02日（木）	高松
平成29年11月16日（木）	帯広
平成29年11月30日（木）	金沢
平成29年12月14日（木）	京都
平成29年12月22日（金）	鹿児島

データ提供： 一般社団法人 日本医療安全調査機構（医療事故調査・支援センター）

医療事故調査制度「管理者・実務者セミナー」プログラム

時間	内容	講師
13:00~13:10	開講挨拶	日本医師会長 横倉 義武
13:10~13:30	医療事故調査制度の概要 (20分)	厚生労働省医政局総務課 医療安全推進室長 名越 究
13:30~14:25	医療事故報告における判断 ①演習 (55分)	日本医療安全調査機構顧問 山口 徹
14:25~14:45	医療事故報告における判断 ②整理 (20分)	日本医療安全調査機構常務理事 木村 壮介
14:45~14:55	休憩	
14:55~15:25	医療事故調査の要点 (30分)	山王メディカルセンター 血管病センター長 宮田 哲郎
15:25~16:10	医療事故調査制度における医療 機関管理者の役割 (45分)	日本医師会 医療安全対策委員会副 委員長 (福岡県医師会副会長) 上野 道雄
16:10~16:20	休憩	
16:20~17:05	調査実務担当者の視点から (45分)	京都大学医学部附属病院准教授 松村 由美
17:05~17:25	質疑応答、まとめ (20分)	全講師
17:25~17:30	閉講挨拶	日本医師会 医療安全対策委員会委 員長 (広島県医師会会長) 平松 恵一

進行：日本医師会常任理事 今村 定臣

*本セミナーは、公益社団法人日本医師会が、一般社団法人日本医療安全調査機構の委託を受けて実施するものです。

(Q3) 本セミナーを受けて、医療安全の推進のために明日から実践できそうなことはありますか。

(Q4) 報告すべき事例について、判断に迷ったご経験がありますか。
迷った経験 ⇒ ある ・ ない ➡ (Q5) へ



「ある」にを付けた方：本セミナーの受講で解決できましたか。

- ⇒ 参考にならなかった
- あまり参考にならなかった
- まあまあ参考になった
- 参考になった

⇒ 具体的にどのような点で判断に迷ったか、以下にご記載ください：

 (Q5) へ

➡ (Q5) ご自身の地域における支援団体の活動について該当する項目について、
をつけて、具体的な要望等がありましたらご記載ください。
 活動がみられない ・ 十分な活動がある ・ わからない

要望など：

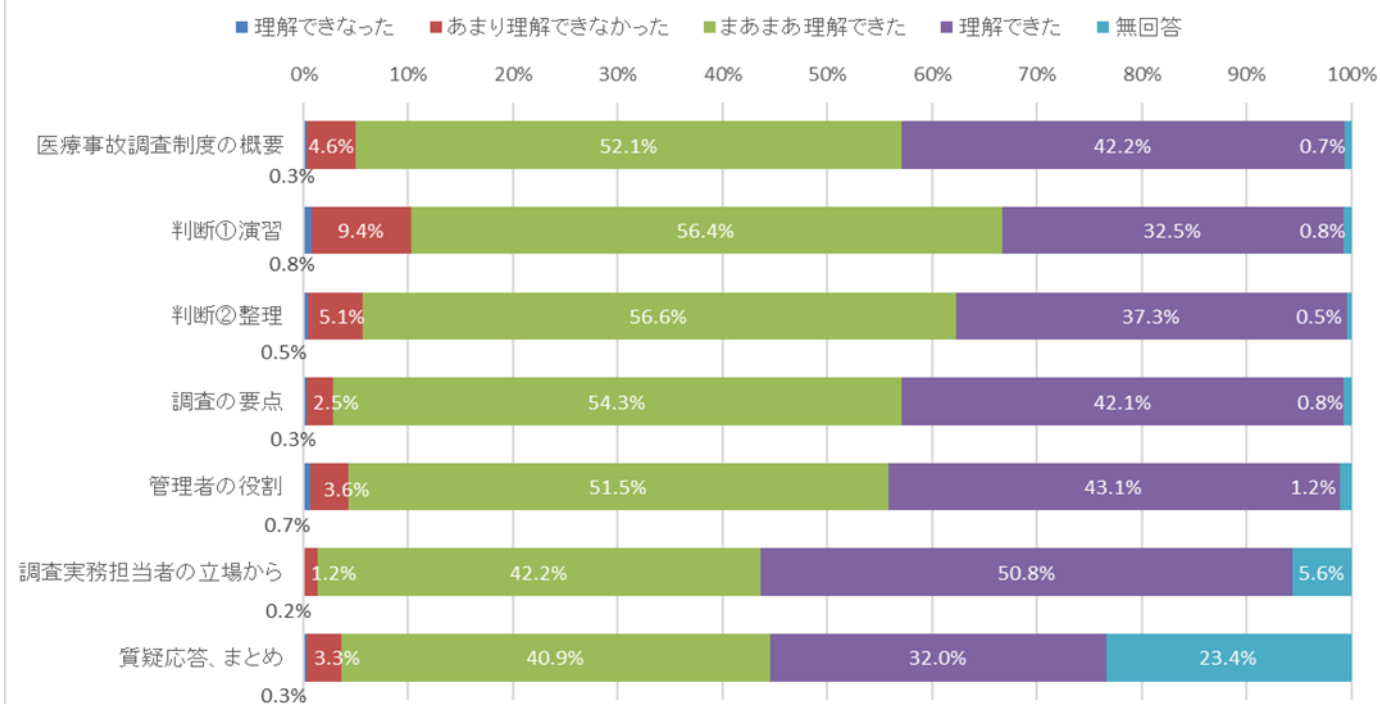
(Q6) 本セミナーの内容・進行・運営等について、ご意見・ご質問がありましたら、お聞かせください。

(Q7) 医療事故調査制度に関して、日頃お悩みの点がありましたら、お聞かせください。

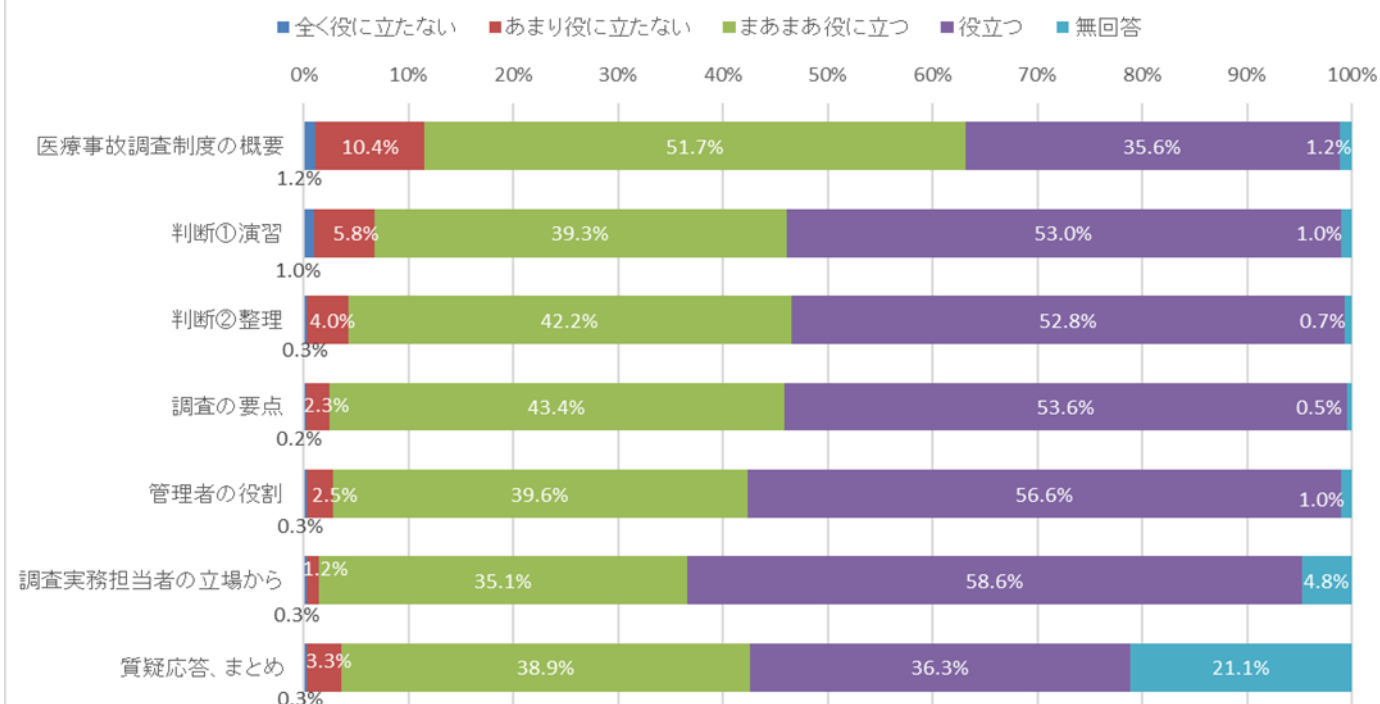
*本アンケートにご記入いただいた内容は、匿名性に留意したうえで、よりよいセミナーを実施するために、平成29年度地域医療基礎開発推進事業「医療事故調査制度の実施状況に関する研究」等の資料として活用させていただく場合があります。皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

ご協力ありがとうございました。

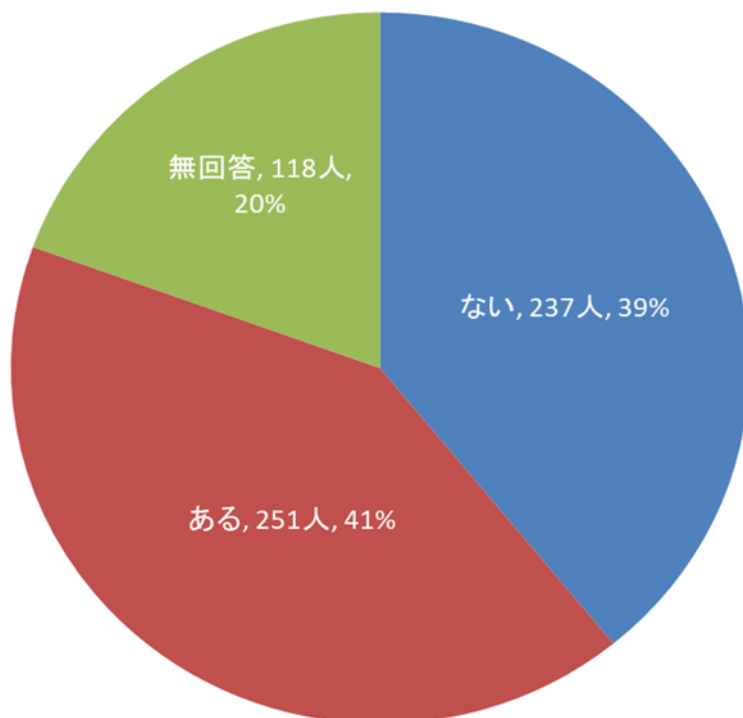
Q1 理解度 (全7力所 N=606)



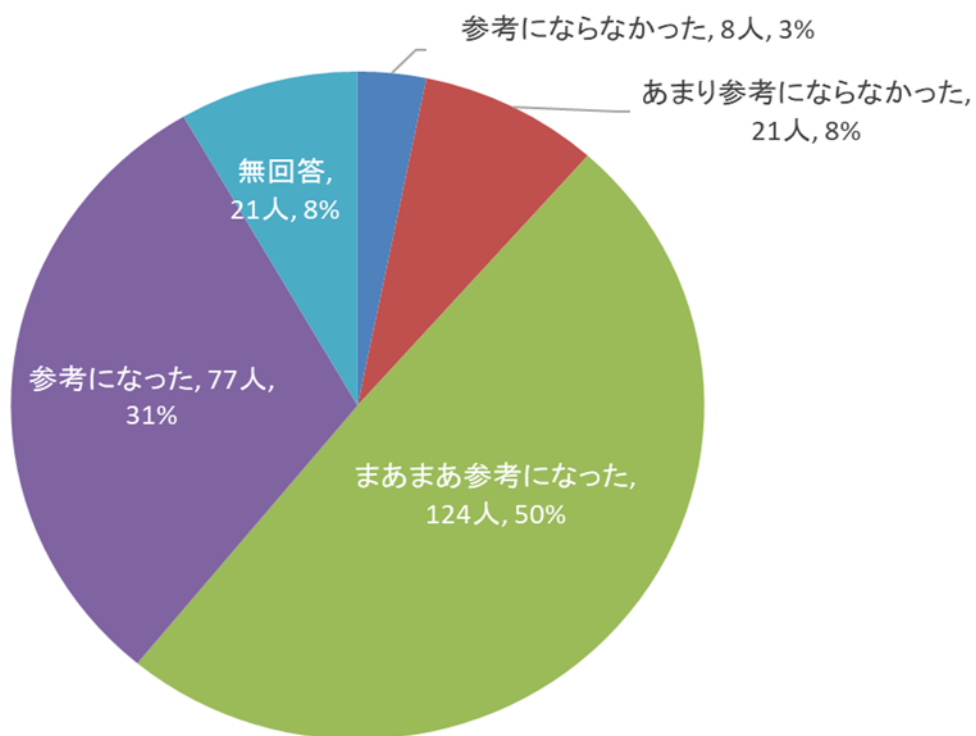
Q2 有用度 (全7力所 N=606)



Q4判断に迷った経験(N=606)



Q4-2 本セミナーで解決できたか (迷った経験あり(N=251)の方のうち)



Q5 支援団体の活動が見られるか(N=606)

